

事案名	京都市の事案（京都府26-4）
分類	廃棄・遺棄 現在の状況
資料	・「京都市における旧日本軍の毒ガス情報に関する調査について」 平成15年6月19日〔1〕
資料内容概要	<p>京都府京都市内の第16師団兵器部兵器倉庫（現、教育施設）の片隅に、イペリットとルイサイトを埋めたとの証言があり、当該敷地の調査を行なった結果、現在も毒ガスが埋まっている可能性はほとんどないと考えられる。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元兵士の証言として、「終戦の2～3日前に、上官の命令により第16師団兵器部兵器倉庫の片隅5尺の地中に毒ガス兵器を埋めた。埋めたものはイペリット（ビン2本を入れたブリキ缶1つ）、ルイサイト（ビン2本を入れたブリキ缶1つ）である」と記載されている〔1〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16師団兵器部兵器倉庫跡は、現在、教育施設であり、毒ガスを埋めたと指摘されるあたりには2つの校舎がある。校舎建築時に地帯一帯を7mまで掘削している。掘削時にはこの場所が元兵器庫であることを認識しており、不発弾などに注意して工事を行ったが、不審物等は発見されなかった。なお、地下水及び土壌ともに測定値は環境基準以下であった。また、地下水は飲用には用いられていない〔1〕。 ・平成15年6月19日に環境省と京都市が「建設工事に際し地下7mまで掘削したが不審物等は発見されず、地下水・土壌ともに測定値は環境基準以下であった」とする調査結果を発表している〔1〕。